

BYK-C 8003

版番号 1.0

1 / 12

作成改訂日: 2016/02/15

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: BYK-C 8003
用途	: 機械特性を向上させる添加剤
供給者情報	
供給者の会社名称	: ビックケミー・ジャパン株式会社
住所	: 東京都新宿区市谷本村町3-29
電話番号	: 03-6457-5501
FAX番号	: 03-6457-5502
電子メールアドレス	: info.byk.japan@altana.com
緊急連絡電話番号	: 03-6457-5501

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体	: 区分3
急性毒性(吸入)	: 区分3
眼刺激性	: 区分2A
生殖毒性	: 区分1B
水生環境有害性(急性)	: 区分2
水生環境有害性(長期間)	: 区分2

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性液体及び蒸気。
強い眼刺激。
吸入すると有毒。
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

: **安全対策:**
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置:

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間 注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

医師に連絡すること。

特別な治療が必要である（このラベルの補足的な応急処置の説明を参照）。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）または耐アルコール性フォームを使用すること。

漏出物を回収すること。

保管:

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

廃棄:

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要 : 本製品は加水分解するとメタノール (Cas no. 67-56-1) を生成する。メタノールは吸入、飲み込みまたは皮膚に接触すると有害で (GHS06, H301, H311, H331)、吸入、飲み込みまたは皮膚に接触すると回復不能な損傷を引き起こす (GHS08, H370)、引火性の高い液体 (GHS02, H225) である。

情報無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 界面活性物質の混合物

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度 [%]
酸性エステル	-	>= 10 - < 20
1-メトキシ-2-プロピルアセタート	108-65-6	>= 1 - < 10
メタノール	67-56-1	>= 0.1 - < 1

4. 応急措置

- | | |
|-----------|--|
| 一般的アドバイス | : 危険域から避難させる。
医師に相談する。
この安全データシートを担当医に見せる。
中毒の症状は数時間後に現れる。
被災者を一人にしない。 |
| 吸入した場合 | : 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすいでください。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。 |
| 眼に入った場合 | : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。 |
| 飲み込んだ場合 | : 気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。 |

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|---|
| 消火剤 | : 耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO2)
粉末消火剤 |
| 使ってはならない消火剤 | : 大型棒状の水 |
| 特有の危険有害性 | : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。 |
| 特有の消火方法 | : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。 |

6. 漏出時の措置

BYK-C 8003

版番号 1.0

4 / 12

作成改訂日: 2016/02/15

-
- | | | |
|-----------------------|---|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | : | 保護具を使用する。
十分な換気を確保する。
付近の発火源となるものを取り除く。
安全な場所に避難する。
蒸気がたまと爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。 |
| 環境に対する注意事項 | : | 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : | 漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照）。 |

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

- | | | |
|----------|---|---|
| 安全取扱注意事項 | : | エアゾールの発生を避けること。
蒸気/粉塵を吸い込まない。
曝露を避ける—使用前に特別指示を受ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
静電気放電に対して予防処置手段をとること。
作業室の換気や排気を十分に行う。
内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。 |
| 衛生対策 | : | 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。
使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。 |

保管

- | | | |
|---------|---|---|
| 安全な保管条件 | : | 関係者以外立ち入り禁止。
禁煙。
容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
ラベルの予防措置を遵守する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。 |
|---------|---|---|

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

BYK-C 8003

版番号 1.0

5 / 12

作成改訂日: 2016/02/15

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
メタノール	67-56-1	ACL	200 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	200 ppm 260 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 経皮吸収				
		TWA	200 ppm	ACGIH
		STEL	250 ppm	ACGIH

保護具

- 呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
- 手の保護具
備考 : 適切な手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 特性
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- pH : データなし
- 融点・凝固点 : 約 -8 °C
- 初留点 : 約 123 °C
- 引火点 : 24 °C
- 蒸発速度 : データなし
- 爆発範囲の上限 : データなし
- 爆発範囲の下限 : データなし
- 蒸気圧 : 約 88 hPa (50 °C)
- 蒸気密度 : データなし

BYK-C 8003

版番号 1.0

6 / 12

作成改訂日: 2016/02/15

比重 (密度)	: データなし
密度	: 0.980 g/cm ³ (20 ° C)
溶解度	
水溶性	: 非混和的
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: > 200 ° C
熱分解	: データなし
粘度 (粘性率)	
粘度	: 約 2 mPa.s (20 ° C)

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはありません。
化学的安定性	: 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはありません。
危険有害反応可能性	: 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはありません。 蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。
避けるべき条件	: 熱、炎、火花。

11. 有害性情報**急性毒性****製品:**

急性経口毒性	: 備考: データなし
--------	----------------

急性吸入毒性	: 急性毒性推定値: : 6.39 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 蒸気 方法: 計算による方法
--------	--

成分:

BYK-C 8003

版番号 1.0

7 / 12

作成改訂日: 2016/02/15

酸性エステル:

急性経口毒性

: LD50 ラット, オスおよびメス: > 4,000 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 401

GLP: 該当

1-メトキシ-2-プロピルアセタート:

急性経口毒性

: LD50 ラット, メス: > 5,000 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 401

GLP: 該当

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

製品:

備考: データなし

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

成分:

酸性エステル:

種: ウサギ

結果: 皮膚刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 404

GLP: 該当

1-メトキシ-2-プロピルアセタート:

種: ウサギ

結果: 皮膚刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 404

GLP: 該当

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

製品:

備考: データなし

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

成分:

酸性エステル:

種: ウサギ

結果: 眼への刺激

分類: 眼に刺激性。

方法: OECD 試験ガイドライン 405

GLP: 該当

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

備考: データなし

成分:

酸性エステル:

備考: データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

データなし

反復投与毒性

製品:

備考: データなし

成分:

酸性エステル:

備考: データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

詳細情報

製品:

備考: データなし

備考: 溶剤は皮膚を脱脂することがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性

: 備考: データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物 :
に対する毒性 備考: データなし

成分:**酸性エステル:**

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 3.5 mg/l
曝露時間: 96 h
試験方法: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 該当

藻類に対する毒性 : ErC50 (Selenastrum capricornutum): > 0.78 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当

残留性・分解性**製品:**

生分解性 : 備考: データなし

成分:**酸性エステル:**

生分解性 : 備考: データなし

1-メトキシ-2-プロピルアセタート:

生分解性 : 結果: 易分解性
方法: OECD 試験ガイドライン 301F
GLP: 該当

生体蓄積性**製品:**

生体蓄積性 : 備考: データなし

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし

成分:**酸性エステル:**

生体蓄積性 : 備考: データなし

1-メトキシ-2-プロピルアセタート:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 1.2 (20 ° C)
pH: 6.8
方法: OECD 試験ガイドライン 117
GLP: 該当

土壤中の移動性

データなし

他の有害影響

BYK-C 8003

版番号 1.0

10 / 12

作成改訂日: 2016/02/15

製品:

- PBT および vPvB の評価結果 : この物質/混合物は0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質 (PBT) または極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質 (vPvB) と懸念される物質を含有しておりません。
- 生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。、長期継続的影響によって水生生物に毒性。

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

- 残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。
- 汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。
空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

14. 輸送上の注意**国際規制****IATA-DGR**

- UN/ID 番号 : 1993
国連輸送名 : Flammable liquid, n. o. s.
(Silane Derivative)
国連分類 : 3
容器等級 : III
ラベル : 3
梱包指示 (貨物機) : 366
梱包指示 (旅客機) : 355

IMDG-Code

- 国連番号 : 1993
国連輸送名 : FLAMMABLE LIQUID, N. O. S.
(Silane Derivative)
国連分類 : 3
容器等級 : III
ラベル : 3
EmS コード : F-E, S-E
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当
備考 : IMDG コード 隔離グループ なし

BYK-C 8003

版番号 1.0

11 / 12

作成改訂日: 2016/02/15

MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には不適用。

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

特別の安全対策

非該当

15. 適用法令

関連法規

消防法

第4類, 第2石油類, 非水溶性液体, (1000 リットル), 危険等級III

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
メタノール	90

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2 (施行令別表第9)

化学名	番号
メタノール	560

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条 (施行令第18条)

化学名	番号
メタノール	36

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

引火性の物

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第2, 3条危険物告示別表第1: 引火性液体類

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第1: 引火性液体

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

海洋汚染物質には該当しない

高圧ガス保安法

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理などを安全に行って頂くために作成されました。記載されている情報はいかなる保証をするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、本SDSのデータはここで指定された物質についてのみ有効で、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。